

事業所名		児童デイサービス リズム木曽呂Ⅱ				支援プログラム				作成日		2024	年	10	月	10	日	
法人（事業所）理念		社会福祉に寄与していくことで、関わる人々の豊かな生活の増進と社会貢献の推進を図る （ひとり一人の個性を大切にしながら、集団生活の中でお互いを認め合い、健やかな成長を目指す。）																
支援方針		集団での活動（主に運動や調理）を通して、一人一人の特性や能力に応じて役割や作業の分担を行い、達成感や所属意識を高める。 ひとり一人の成長過程や発達段階に応じて目標を定め、スモールステップで着実に成長を実感できるような支援を行う。																
営業時間		平日 休日	14 11	時	30 00	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無		あり なし					
		ねらい					支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善 生活のリズムや生活習慣の形成 基本的な生活スキルの獲得 生活におけるマネジメントスキルの育成					・心身の健康状態の把握（家庭、学校からの申し送りの確認、通所時の体温測定、活動中の健康観察 など） ・生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所、常時活動と余暇、長期休暇中の規則的な生活の維持 など） ・決められた下駄箱、ロッカーに靴や自分の荷物を入れる。手洗いうがいをする。トイレの声掛け・介助（適切な場面ごとに声掛け）など ・個の特性や状況に応じた場の設定、座席の配慮 ・調理活動時の身支度、食への関心、喫食時の姿勢保持、片付け など											
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用 保有する感覚の活用 感覚の補助及び代行手段の活用 感覚の特性への対応					・歩行や軽い運動（ストレッチ・サーキット運動・ボール投げ など） ・姿勢の保持（始まりの会、帰りの会での姿勢指導・テーブル作業時の座り方指導 など） ・ダンス活動（音楽や映像に合わせて体を動かす運動） ・調理活動や造形活動を通して手指の感覚や力加減習得の支援（切る、ちぎる、丸める、混ぜる、こねる、にぎる、貼る など） ・障害特性に合わせた配慮（イヤマフの使用、休憩時間の確保、見学場所の設定 など）											
	認知・行動	認知の特性についての理解と対応 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 （感覚の活用や認知機能の発達、知覚から行動への認知過程の 発達、認知から行動の手がかりとなる概念の形成） 行動障害への予防及び対応					・日付、曜日の把握、天気や気温に関する認知の形成（スケジュールボードで確認） など ・時間に関する認知の形成（スケジュールボードの確認、タイマーの活用 など） ・物質の変化と感覚に関する認知の形成（調理活動での作業、粘土、水遊び など） ・空間把握の認知形成（ブロック遊び、積み木、ボール遊び など） ・季節の変化への興味などの感性の形成（造形、イベント、屋外活動 など） ・小集団による遊びやゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮 ・歩行活動時の交通ルール（左側を歩く、信号の理解、交差点での安全確認 など）											
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力の向上 言語の受容と表出 言語の形成と活用 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 コミュニケーション手段の選択と活用 状況に応じたコミュニケーション 読み書き能力の向上					・言語の獲得、聞く力の形成（調理活動時の手順説明、読み聞かせ、パネルシアター など） ・言語の受容、表出支援（宿題や課題取組時の質問、始まりの会や帰りの会での発言機会、あいさつ など） ・カード（絵カードによるカードマッチング、かるた遊びなど） ・運動ゲームでのペア組みや自由遊びでの遊具の貸し借り ・個別又は小集団での読み書き（個に合わせたワークを使った指導、絵カードなどを使ったゲーム、宿題の見守り など） ・名札の使用（ロッカー、下駄箱の掲示）手洗いうがい（自分の名前の確認） ・言語に特性がある利用者様への配慮（絵カードやサインを使ったコミュニケーション支援 など）											
	人間関係 社会性	アタッチメント（愛着）の形成と安定 情緒の安定 他者との関わり（人間関係）の形成 遊びを通じた社会性の発達 自己の理解と行動の調整 仲間づくりと集団への参加					・アタッチメントの形成（スキンシップ遊び、肯定感や自尊心を高める前向きな声かけ など） ・スケジュールの周知、確認（始まりの会や活動時の事前説明を受けることで安心感を持たせる） ・他者との関わり形成（調理活動での共同作業、見立て遊び、ごっこ遊び、小チームでの対戦ゲーム など） ・壁面掲示物づくり、季節のイベント開催、役割分担のある調理活動や協同遊び、ルールの理解が必要な遊び、集団活動 など ・活動参加への自己決定の尊重（参加できない場合、過ごし方をいくつかの選択肢から選ぶ等の配慮） ・社会資源の活用（公共施設等での活動【公園、児童館等】、社会見学【資料館、博物館、体験型施設等】など）											
家族支援		・利用者様の支援方針の共有、および情報交換 ・ご家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助（ご兄弟を含む） ・レスパイト確保や預かりニーズに対する延長支援								移行支援		・地域の児童館での一般児童との場の共有 ・小学校、中学校、高校への情報提供を通した切れ目ない支援 ・学校・家庭と連携をしながら個々に合わせた自立へ向けた支援						
地域支援・地域連携		・開かれた事業所づくり。（見学の随時受け入れ・情報提供など） ・児童発達支援事業所ネットワークへの参加。								職員の質の向上		・定期的な研修の実施 ・外部研修（自治体主催など）への職員の派遣						
主な行事等		・初詣 ・節分 ・お花見散歩 ・水遊び ・夏祭り ・ハロウィン ・クリスマス ・季節行事（造形物や掲示物の作成） ・旬を意識したおやつ作り																